

人材育成研修のトライアングル・トラスト

東京に支店開設

企業向けに人材育成研修を実施するトライアングル・トラスト（本社名古屋市中区丸の内1の7の6、安田真浪社長、電話052・228・9558）は、東京支店を開設した。都心部での研修依頼の増加に対応するほか、パートナー企業や顧客の開拓につなげる。当面は年5社のペースで関東地方の顧客開拓を目指す。

（酒井田梨史）



安田真浪社長

東京支店は、東京都港区港南2の15の1品川インタースティータ棟に開設した。本社との2拠点体制となる。シェアオフィスの一画で、広さは約100平方メートル。社員は常駐せず、関東地方の営業活動拠点などに使う。同社は、企業の中堅・若手社員を対象にした人材育成研修を手掛ける。1社ごとにもオーダーメイドで研修プログラムを構築し、「社会人としての意識形成」「チームビルディング」「マネジメント」などのテーマに応じて専門家を派遣する。

これまで中部・北陸地方からの研修依頼が多かったが、コロナ禍を契機に東京をはじめとした関東地方からも依頼が増加。安田社長は「リモートワークが増えたことで、社員間のコミュニケーション不足やチームビルディングを課題に感じる企業が増えたのでは」とみる。支店開設で旺盛な需要を取り込む。

東京支店が入居するビルの外観

都心部での需要増加に対応

企業向けに人材育成研修を手掛ける



また、法人向けに同社企画の研修をあっせんするパートナー企業の開拓も進める。現在、通信会社のビッググループ（本社東京都）や旅行業のHIS（同）など約10社と業務提携し、各社が提供する人事サービスに研修プログラムを提供している。

安田社長は「パートナー企業からの紹介で大手企業の研修を担当させてもらうことも多い。支店を起点に連携を深め、関東圏の顧客基盤を築いていきたい」と意気込む。

同社は2004年設立。社員数は4人。外部の専門家らと組んで、社員数500人規模の企業を中心に研修を手掛ける。